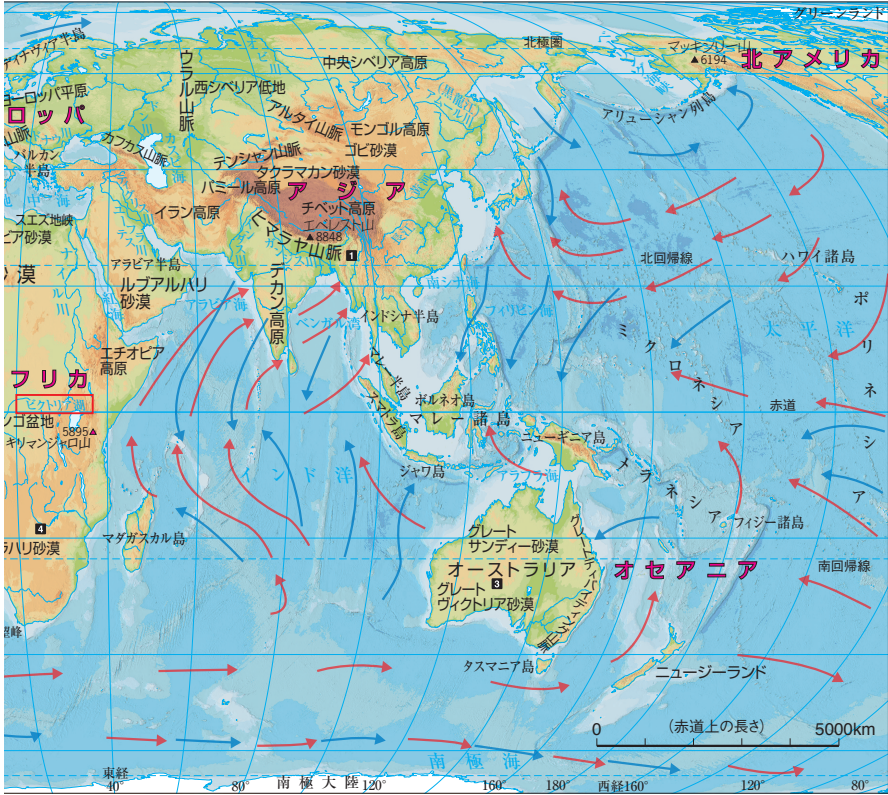
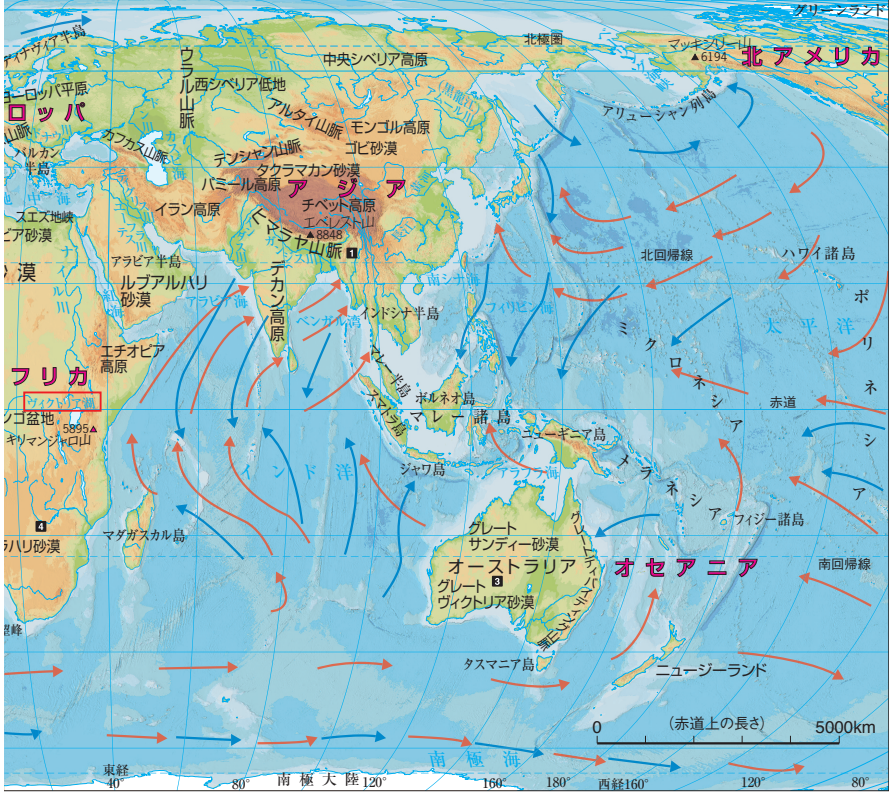


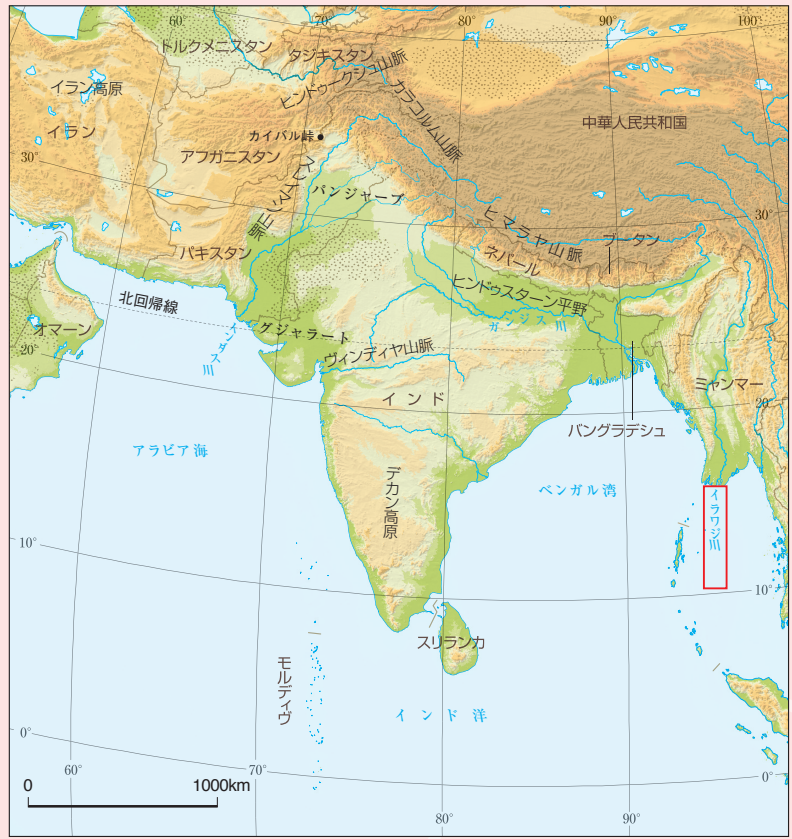

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
巻頭 2	地図（上）	別紙 1 参照	別紙 1 参照
巻頭 5	地図	別紙 2 参照	別紙 2 参照
巻頭 9	地図	別紙 3 参照	別紙 4 参照
巻頭 11	宗教	別紙 5 参照	別紙 6 参照
20	年表	<u>「共産党宣言」</u>	<u>『共産党宣言』</u>
24	資料 9	第 1 条 <u>人間</u> は、	第 1 条 <u>人</u> は、
41	8	ヨーロッパ人は彼らをインディオ（インディアン）とよんだ。	ヨーロッパ人は <u>当時の地理的認識のあやまりから</u> 彼らをインディオ（インディアン）とよんだ。
45	5	^{げんめん} <u>原綿</u>	<u>原料の綿花</u>
45	21	<u>原綿</u>	<u>綿花</u>
54	資料 1 左段 1	<u>八十七</u> 年前	<u>87</u> 年前
54	資料 1 右段 9	<u>統治</u>	<u>政府</u>
54	19	別紙 7 参照	別紙 7 参照
54	図 4	別紙 7 参照	別紙 7 参照
55	注 1	<u>①</u>	<u>②</u>
55	7	^① クリミア戦争	^② クリミア戦争
55	コラム	北部の自由州と奴隷州との間で	北部の自由州と <u>南部の</u> 奴隷州との間で
56	資料 2 キャプション	(<u>明治神宮聖徳記念絵画館蔵</u>)	(「 <u>大政奉還</u> 」)
57	人物コラム	<u>「王様と私」</u>	<u>『王様と私』</u>
59	図 5	別紙 7 参照	別紙 7 参照
60	3	<u>茅葺</u> きの家屋（チセ）	<u>茅葺</u> き（または <u>笹葺</u> き）の家屋（チセ）
62	資料 1	本条および前条によって <u>保証</u> される権利の行使を規制する。	本条および前条によって <u>保障</u> される権利の行使を規制する。


訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
62	資料 4 キャプション	<u>憲法発布式典</u>	<u>「憲法発布式」</u>
65	図 4	別紙 8 参照	別紙 9 参照
69	16	めざす運動をおこしたが、 <u>性急な改革は</u>	めざす運動をおこした。 <u>しかし、性急な改革は</u>
80	資料 4	第 1 条 <u>人間は</u> ,	第 1 条 <u>人は</u> ,
88	左段 4	<u>14</u> か条の影響もあり	<u>十四</u> か条の影響もあり
96	資料 1	三 可能なかぎり、 <u>、</u>	三 可能なかぎり、 <u>、</u>
101	図 9	別紙 10 参照	別紙 10 参照
109	19	1924 年から 193 <u>1</u> 年まで	1924 年から 193 <u>2</u> 年まで
112	18	ニュー・ <u>ディール</u>	ニューディール
123	図 5	別紙 10 参照	別紙 10 参照
129	人物コラム	戦後は <u>G H Q</u> の最高司令官となった。	戦後は <u>GHQ</u> の最高司令官となった。
133	22	1963 年に <u>マレーシア連邦</u> の一員として独立した。	1963 年に <u>連邦制のマレーシア</u> の一員として独立した。
161	8	別紙 11 参照	別紙 11 参照
164	図 2 キャプション	<u>大阪万国博覧会</u>	<u>日本万国博覧会（大阪万博）</u>
167	図 4	別紙 11 参照	別紙 11 参照
173	左段 20	日本は、植民統治を行っていた台湾や	日本は、植民 <u>地</u> 統治を行っていた台湾や
174	図 3	別紙 12 参照	別紙 12 参照
174	小見出し	ブレトンウッズ体制の崩壊と石油危機	ブレトン・ <u>ウ</u> ッズ体制の崩壊と石油危機
177	小見出し 5	改革開放	改革・ <u>開</u> 放
178	項タイトル	別紙 12 参照	別紙 12 参照
178	人物コラム タイトル	[1931－]	[1931－ <u>2022</u>]


訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
180	資料 1	別紙 13 参照	別紙 14 参照
184	よみとり	民主主義国が増加した時期は、いつだろうか。また、その時期には、どのような出来事があったのだろうか。	世界各国で民主化が進んだ冷戦終結前後には、どのような出来事があったのだろうか。
187	図 5	別紙 15 参照	別紙 16 参照
189	図 8	別紙 17 参照	別紙 17 参照
189	17	別紙 17 参照	別紙 17 参照
189	資料 7	別紙 17 参照	別紙 17 参照
192	図 1	別紙 18 参照	別紙 18 参照
192	右段 5	資料 1 は 2018 年の主要な	資料 1 は 2016 年の主要な
201	東アジア・北アジア	別紙 19 参照	別紙 20 参照
201	東南アジア	別紙 19 参照	別紙 20 参照
201	東アジア・北アジア	別紙 19 参照	別紙 20 参照
202	東ヨーロッパ・ロシア	別紙 21 参照	別紙 22 参照
202	西アジア・アフリカ	別紙 21 参照	別紙 22 参照
202	アメリカ・オセアニア	別紙 21 参照	別紙 22 参照
203	東南アジア 東アジア・北アジア	別紙 23 参照	別紙 24 参照
203	日本	別紙 23 参照	別紙 24 参照
203	日本	別紙 23 参照	別紙 24 参照
203	東南アジア	別紙 23 参照	別紙 24 参照
203	東南アジア	別紙 23 参照	別紙 24 参照
204	お	大坂紡績会社	大阪紡績会社
204	か	改革開放	改革・開放

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
204	か	別紙 25 参照	別紙 25 参照
205	こ	別紙 25 参照	別紙 25 参照
207	に	別紙 25 参照	別紙 25 参照
207	に	ニュー・ <u>ディール</u>	ニューディール
巻末 2	地図	別紙 25 参照	別紙 25 参照
巻末 2	地図	別紙 25 参照	別紙 25 参照
巻頭 9	地図	別紙 3 参照	別紙 4 参照
133	コラム	暴力的な取り締りに抗議する	暴力的な取り締 <u>まり</u> に抗議する

番号	原文	訂正文
1	 <p>This world map illustrates global wind patterns with red arrows indicating wind direction and blue arrows indicating ocean currents. The map includes latitude and longitude lines, with the equator and Tropic of Cancer clearly marked. Major geographical features and regions are labeled in Japanese. The map is titled '北アメリカ' (North America) at the top and 'オセアニア' (Oceania) at the bottom. A scale bar at the bottom indicates a distance of 5000km along the equator.</p>	 <p>This world map is identical to the original, but with corrected text labels. The labels for '北アメリカ' (North America) and 'オセアニア' (Oceania) are now correctly positioned. The map also includes a scale bar at the bottom indicating a distance of 5000km along the equator.</p>

番号	原文	訂正文
2		

番号	原文
3 ・ 70	<div><div><div><div>1.ルクセンブルク</div><div>2.スイス</div><div>3.リヒテンシュタイン</div><div>4.オーストリア</div><div>5.スロヴェニア</div><div>6.クロアチア</div><div>7.ボスニア・ヘルツェゴヴィナ</div><div>8.モンテネグロ</div><div>9.北マケドニア</div><div>10.コソヴォ</div></div></div></div>

番号	訂正文
3 ・ 70	<div data-bbox="526 391 1854 1265"><div data-bbox="539 400 777 675"><p>1.ルクセンブルク 2.スイス 3.リヒテンシュタイン 4.オーストリア 5.スロヴェニア 6.クロアチア 7.ボスニア・ヘルツェゴヴィナ 8.モンテネグロ 9.北マケドニア 10.コソヴォ</p></div></div>

番号

原文

4

宗教

1:170,000,000
0 2000km

—Alexander Weltatlas 1995 年版ほか—

キリスト教 カトリック プロテスタント 東方教会(正教)など	仏教 大乗仏教 上座部仏教 チベット仏教	道教・儒教・大乘仏教 神道・大乘仏教など イスラーム イスラーム・シーア派	ヒンドゥー教 ユダヤ教 その他	宗教の伝播 ●→ キリスト教 ●→ 仏教 ●→ イスラーム
--	--------------------------------------	---	------------------------------	---

番号

訂正文

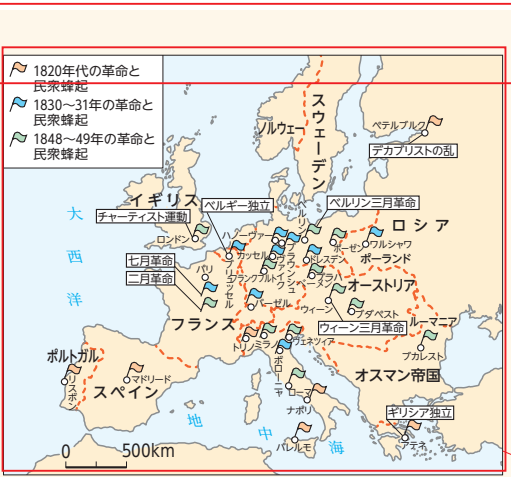
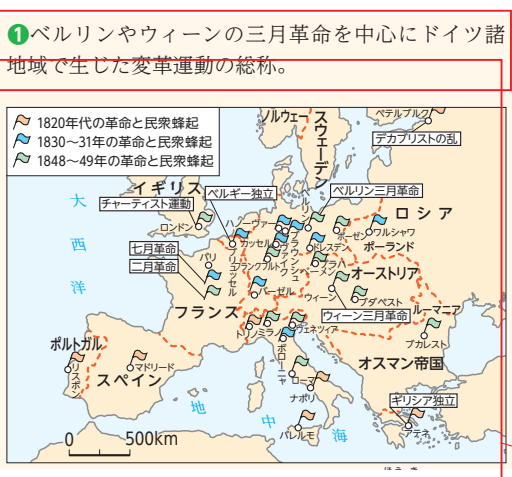
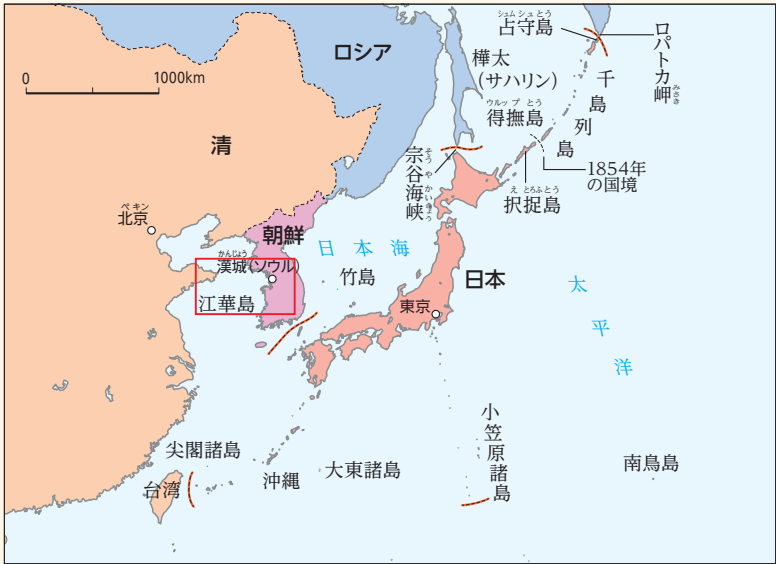
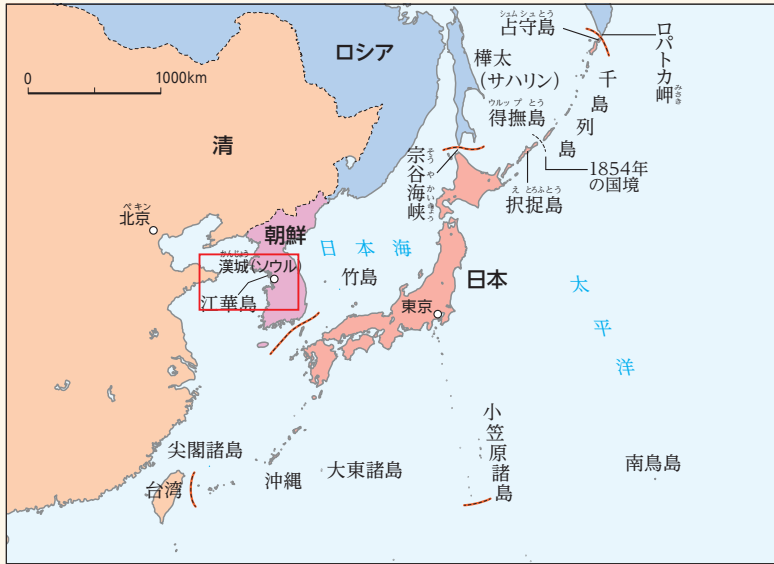
4

宗教

1:170,000,000
0 2000km



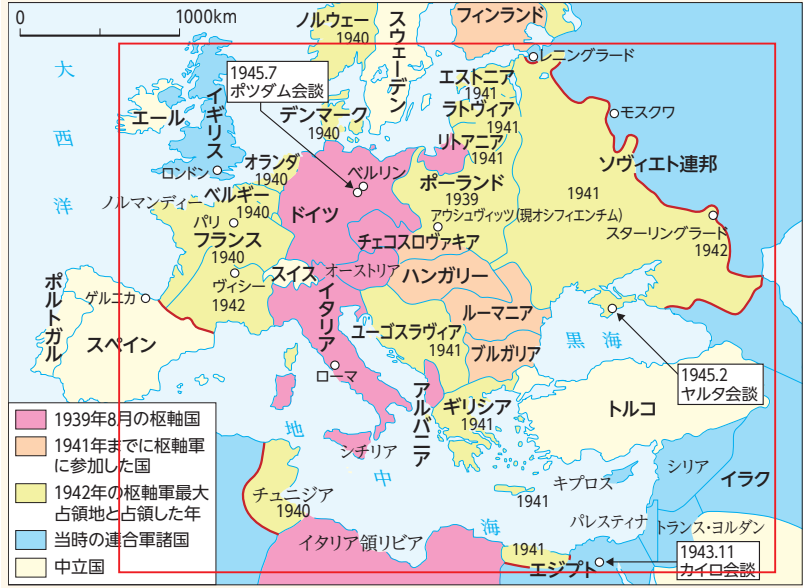
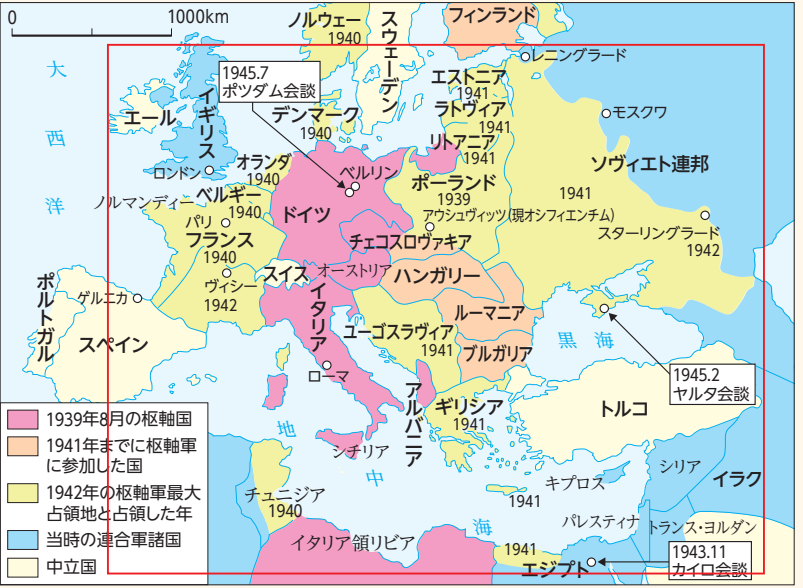
—Alexander Weltatlas 1995 年版ほか—

キリスト教	仏教	道教・儒教・大乘仏教	ヒンドゥー教	宗教の伝播
カトリック	大乘仏教	神道・大乘仏教など	ユダヤ教	●→ キリスト教
プロテスタント	上座部仏教	イスラーム	その他	●→ 仏教
東方教会(正教)など	チベット仏教	イスラーム・シーア派		●→ イスラーム

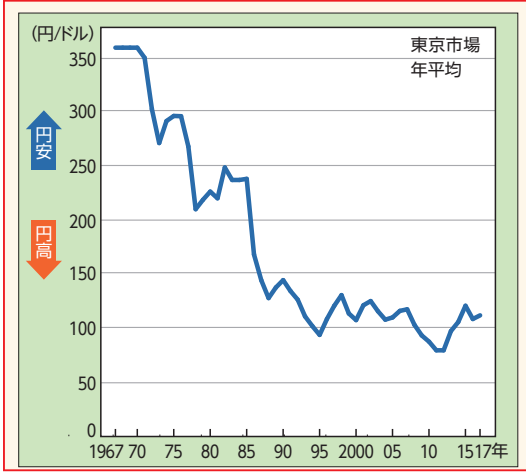
番号	原文	訂正文
12・13	<div><div><div>1820年代の革命と民衆蜂起</div><div>1830～31年の革命と民衆蜂起</div><div>1848～49年の革命と民衆蜂起</div></div></div> <div><div>ウィーン体制とその崩壊</div><p>国の主導のもと、諸国の政 ムを抑圧し、君主中心の伝 しかし、労働者、農民、 的な変革を求める運動は強 ランス七月革命などの変革 はドイツ三月革命など、ヨ 「諸国民の春」ともよばれる。</p></div> <div>13</div>	<div><div>①ベルリンやウィーンの三月革命を中心にドイツ諸 地域で生じた変革運動の総称。</div></div> <div><div>ウィーン体制とその崩壊</div><p>国の主導のもと、諸国の政 ムを抑圧し、君主中心の伝 しかし、労働者、農民、 的な変革を求める運動は強 ランス七月革命などの変革 はドイツ三月革命など、ヨ 「諸国民の春」ともよばれるこ</p></div> <div>13</div>
19		

番号	原文
23	<div></div>

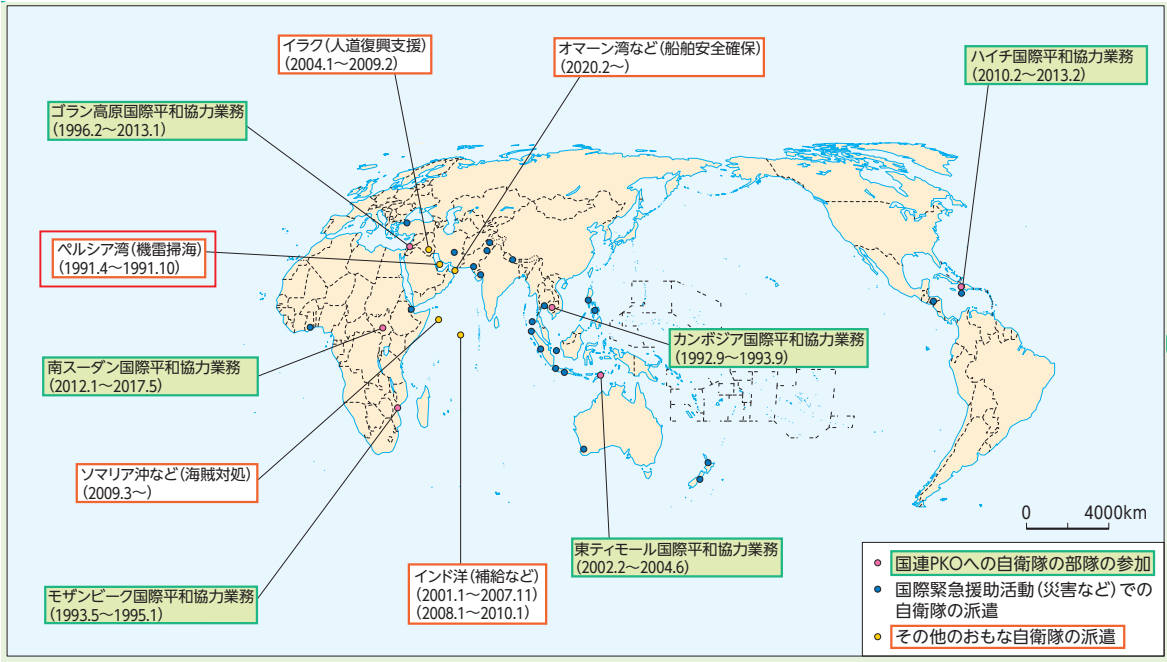
番号	訂正文
23	<div></div>

番号	原文	訂正文
28	 <p>阪急百貨店 宝塚少女歌劇とならんで、沿線の消費文化の中心となった。</p>	 <p>阪急百貨店 宝塚少女歌劇とならんで、沿線の消費文化の中心となった。</p>
31	 <p>0 1000km</p> <p>大 西 洋</p> <p>ノルマンディー</p> <p>エル</p> <p>イギリス</p> <p>デンマーク</p> <p>オランダ</p> <p>ベルギー</p> <p>フランス</p> <p>ドイツ</p> <p>スイス</p> <p>オーストリア</p> <p>ハンガリー</p> <p>イタリア</p> <p>ギリシア</p> <p>アルバニア</p> <p>ユーゴスラヴィア</p> <p>ルーマニア</p> <p>ブルガリア</p> <p>トルコ</p> <p>シリア</p> <p>イラク</p> <p>エジプト</p> <p>パレスティナ</p> <p>キプロス</p> <p>シチリア</p> <p>イタリア領リビア</p> <p>チュニジア</p> <p>スペイン</p> <p>ポルトガル</p> <p>ゲルニカ</p> <p>モスクワ</p> <p>スターリングラード</p> <p>ソヴィエト連邦</p> <p>フィンランド</p> <p>スウェーデン</p> <p>エストニア</p> <p>ラトヴィア</p> <p>リトアニア</p> <p>ポーランド</p> <p>アウシュヴィッツ(現オシフィエンチム)</p> <p>1945.7 ポツダム会議</p> <p>1945.2 ヤルタ会議</p> <p>1943.11 カイロ会議</p> <p>1939年8月の枢軸国</p> <p>1941年までに枢軸軍に参加した国</p> <p>1942年の枢軸軍最大占領地と占領した年</p> <p>当時の連合軍諸国</p> <p>中立国</p>	 <p>0 1000km</p> <p>大 西 洋</p> <p>ノルマンディー</p> <p>エル</p> <p>イギリス</p> <p>デンマーク</p> <p>オランダ</p> <p>ベルギー</p> <p>フランス</p> <p>ドイツ</p> <p>スイス</p> <p>オーストリア</p> <p>ハンガリー</p> <p>イタリア</p> <p>ギリシア</p> <p>アルバニア</p> <p>ユーゴスラヴィア</p> <p>ルーマニア</p> <p>ブルガリア</p> <p>トルコ</p> <p>シリア</p> <p>イラク</p> <p>エジプト</p> <p>パレスティナ</p> <p>キプロス</p> <p>シチリア</p> <p>イタリア領リビア</p> <p>チュニジア</p> <p>スペイン</p> <p>ポルトガル</p> <p>ゲルニカ</p> <p>モスクワ</p> <p>スターリングラード</p> <p>ソヴィエト連邦</p> <p>フィンランド</p> <p>スウェーデン</p> <p>エストニア</p> <p>ラトヴィア</p> <p>リトアニア</p> <p>ポーランド</p> <p>アウシュヴィッツ(現オシフィエンチム)</p> <p>1945.7 ポツダム会議</p> <p>1945.2 ヤルタ会議</p> <p>1943.11 カイロ会議</p> <p>1939年8月の枢軸国</p> <p>1941年までに枢軸軍に参加した国</p> <p>1942年の枢軸軍最大占領地と占領した年</p> <p>当時の連合軍諸国</p> <p>中立国</p>

番号	原文	訂正文
34	1956年、 ^{はとやまいちろう} 鳩山一郎内閣はソ連との戦争状態 ソ共同宣言に調印し、国交が回復した。同年、	1956年、 ^{はとやまいちろう} 鳩山一郎内閣はソ連との戦争状態 ソ共同宣言に調印し、国交が回復した。同年、
36		

番号	原文	訂正文
38		
41	冷戦の終結と世界	冷戦の終結と世界

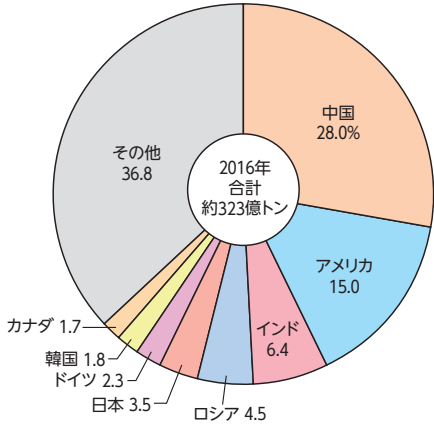
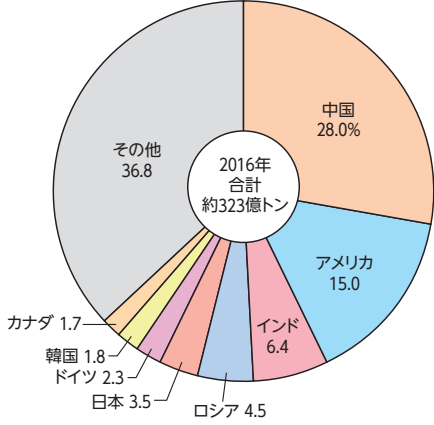
番号	原文
43	<div><p>イラク(人道復興支援) (2004.1～2009.2)</p><p>オマーン湾など(船舶安全確保) (2020.2～)</p><p>ハイチ国際平和協力業務 (2010.2～2013.2)</p><p>カンボジア国際平和協力業務 (1992.9～1993.9)</p><p>東ティモール国際平和協力業務 (2002.2～2004.6)</p><p>インド洋(補給など) (2001.1～2007.11) (2008.1～2010.1)</p><p>モザンビーク国際平和協力業務 (1993.5～1995.1)</p><p>ソマリア沖など(海賊対処) (2009.3～)</p><p>南スーダン国際平和協力業務 (2012.1～2017.5)</p><p>ペルシャ湾(機雷掃海) (1991.4～1991.10)</p><p>ゴラン高原国際平和協力業務 (1996.2～2013.1)</p><p>0 4000km</p><ul style="list-style-type: none">● 国連PKOへの自衛隊の部隊の参加● 国際緊急援助活動(災害など)での自衛隊の派遣● その他のおもな自衛隊の派遣<p>1 国連PKOへの自衛隊の部隊の参加</p></div>

番号	訂正文
43	 <p>イラク(人道復興支援) (2004.1～2009.2)</p> <p>オマーン湾など(船舶安全確保) (2020.2～)</p> <p>ハイチ国際平和協力業務 (2010.2～2013.2)</p> <p>カンボジア国際平和協力業務 (1992.9～1993.9)</p> <p>東ティモール国際平和協力業務 (2002.2～2004.6)</p> <p>インド洋(補給など) (2001.1～2007.11) (2008.1～2010.1)</p> <p>モザンビーク国際平和協力業務 (1993.5～1995.1)</p> <p>ソマリア沖など(海賊対処) (2009.3～)</p> <p>南スーダン国際平和協力業務 (2012.1～2017.5)</p> <p>ペルシア湾(機雷掃海) (1991.4～1991.10)</p> <p>ゴラン高原国際平和協力業務 (1996.2～2013.1)</p> <p>0 4000km</p> <ul style="list-style-type: none">● 国連PKOへの自衛隊の部隊の参加● 国際緊急援助活動(災害など)での自衛隊の派遣● その他のおもな自衛隊の派遣

番号	原文
45	<div data-bbox="533 520 1870 1101"><p>ヨーロッパ連合 (EU)</p><p>北米自由貿易協定 (NAFTA)* アメリカ、カナダ、メキシコ</p><p>アジア太平洋経済協力会議 (APEC) 日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、ブルネイ、中国、台湾、香港、メキシコ、チリ、パプアニューギニア、ロシア、ペルー、ベトナム</p><p>東南アジア諸国連合 (ASEAN) タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア</p><p>ラテンアメリカ統合連合 (ALADI) アルゼンチン、メキシコ、ブラジルなど13か国</p><p>アフリカ連合 (AU)</p><p>* NAFTAにかわって2020年7月に米国・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) が発効した。</p></div>

番号	訂正文
45	<div data-bbox="459 579 1803 1173"><p>The map displays the following trade blocs:</p><ul style="list-style-type: none">ヨーロッパ連合 (EU): Shaded in light blue, covering Western and Central Europe.アフリカ連合 (AU): Shaded in green, covering the African continent.東南アジア諸国連合 (ASEAN): Shaded in yellow, covering Southeast Asia. Callout box lists: タイ, マレーシア, フィリピン, インドネシア, シンガポール, ブルネイ, ベトナム, ラオス, ミャンマー, カンボジア.アジア太平洋経済協力会議 (APEC): Shaded in orange, covering the Pacific Rim. Callout box lists: 日本, アメリカ, カナダ, オーストラリア, ニュージーランド, 韓国, シンガポール, マレーシア, インドネシア, フィリピン, タイ, ブルネイ, 中国, 台湾, 香港, メキシコ, チリ, パプアニューギニア, ロシア, ベルー, ベトナム.北米自由貿易協定 (NAFTA)*: Shaded in purple with diagonal stripes, covering North America. Callout box lists: アメリカ, カナダ, メキシコ.ラテンアメリカ統合連合 (ALADI): Shaded in light purple, covering Latin America. Callout box lists: アルゼンチン, メキシコ, ブラジルなど13か国.<p>* NAFTAに変わって2020年7月に米国・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) が発効した。</p></div>

番号	原文	訂正文
46 ・ 47 ・ 48	<p>ライナ)</p> <p>48</p> <p>的な政策によって強められ ブル経済の崩壊後、長期に がとられてきた。 負の側面ゆえに、それに反 らわれている。たとえば西 入したことに加え、中東や 、福祉の削減を懸念する労 る批判が高まっている。国 ギリスは2016年の国民投票 した。アメリカでも2017年、 任した。 47 は、既存のエリートを批判 いる。普通の人々の代弁者 主化を先導してきた欧米諸 に、中国やロシアといった 発展が進められている。世 に入っている。</p> <p>り残さない持続可能な社 目標(SDGs)」が決定され、 目標が示された。グローバ 社会を構築していくことが、</p>	<p>ライナ)</p> <p>48</p> <p>的な政策によって強められ ブル経済の崩壊後、長期に がとられてきた。 負の側面ゆえに、それに反 らわれている。たとえば西 入したことに加え、中東や 福祉の削減を懸念する労 る批判が高まっている。国 ギリスは2016年の国民投票 した。アメリカでも2017年、 任した。 47 は、既存のエリートを批判 いる。普通の人々の代弁者 主化を先導してきた欧米諸 に、中国やロシアといった 発展が進められている。世 に入っている。</p> <p>り残さない持続可能な社 目標(SDGs)」が決定され、 目標が示された。グローバ 社会を構築していくことが</p>
	<p>7 イギリスのEU離脱を祝う人々(上)と悲し む人々(下) (2020年)</p> <p>SDGs</p> <p>1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に</p> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標</p>	<p>7 イギリスのEU離脱を悲しむ人々 (2020年)</p> <p>SDGs</p> <p>1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に</p> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標</p>

番号	原文	訂正文
49	<div><p>2016年 合計 約32.3億トン</p><p>中国 28.0%</p><p>アメリカ 15.0</p><p>インド 6.4</p><p>ロシア 4.5</p><p>日本 3.5</p><p>ドイツ 2.3</p><p>韓国 1.8</p><p>カナダ 1.7</p><p>その他 36.8</p><p>①各国別の温室効果ガス排出量シェア (2018年)</p></div>	<div><p>2016年 合計 約32.3億トン</p><p>中国 28.0%</p><p>アメリカ 15.0</p><p>インド 6.4</p><p>ロシア 4.5</p><p>日本 3.5</p><p>ドイツ 2.3</p><p>韓国 1.8</p><p>カナダ 1.7</p><p>その他 36.8</p><p>①各国別の温室効果ガス排出量シェア</p></div>

番号	原文				
51 ・ 52 ・ 53	51				
	96 イギリス, スリランカ獲得	95 イギリス, マラッカ占領	96 にいたる 白蓮教徒の乱(～1804)	92 ラクスマン, 根室来航 00 伊能忠敬, 蝦夷地の測量	1800
		02 グエン・フク・アインが阮朝を ひらく		04 ロシア使節レザノフ, 長崎に来航 08 フェートン号事件	1810
	13 イギリス東インド会社の貿易独 占権廃止(茶をのぞく)				1820
		19 イギリス, シンガポール領有 24 イギリス・ビルマ戦争(～86) 26 海峡植民地成立		25 異国船打払令	1830
	33 イギリス東インド会社の中国貿 易独占権全面廃止		39 林則徐, 広州でアヘンをとりにしめる 40 アヘン戦争(～42)	33 天保の大飢饉	1840
	45 シク戦争(～49)		42 南京条約	41 天保の改革(～43)	1850
	57 インド大反乱(シパーヒーの反乱) (～59) 58 ムガル帝国滅亡		51 太平天国(～64) 56 アロー戦争(～60) 58 アイグン条約, 天津条約 60 北京条約, 洋務運動	53 ペリー来航 54 日米和親条約 58 日米修好通商条約	1860
	52	62 サイゴン条約 63 フランス, カンボジアを保護国 とする 68 シyam, チュラロンコン王即位	62 同治中興(～74) 63 朝鮮, 大院君が摂政となる(～73)	67 大政奉還, 王政復古 68 明治維新	1870
	77 インド帝国成立		71 日清修好条規 73 朝鮮, 閔氏政権成立 76 日朝修好条規, 朝鮮が開国 79 沖縄県設置	74 台湾出兵	1880
	85 インド国民会議成立	83 フェエ条約 84 フェエ条約(第2次) 84 清仏戦争(～85) 87 フランス領インドシナ連邦成立	82 朝鮮, 壬午軍乱 84 朝鮮, 甲申政変	89 大日本帝国憲法発布 90 第1回帝国議会	1890
		95 マレー連合州成立 99 フィリピン, マロロス共和国樹立 フィリピン, アメリカ領となる	94 甲午農民戦争 95 変法自強運動(～98) 98 戊戌の政変 99 義和団事件(～1901)	94 日清戦争(～95) 95 下関条約, 三国干渉	53 1900

番号	訂正文				
51 ・ 52 ・ 53			51		
	96 イギリス, スリランカ獲得	95 イギリス, マラッカ占領	96 にいたる 白蓮教徒の乱(～1804)	92 ラクスマン, 根室来航 00 伊能忠敬, 蝦夷地の測量	1800
		02 グエン・フク・アインが阮朝を ひらく		04 ロシア使節レザノフ, 長崎に来航 08 フェートン号事件	1810
	13 イギリス東インド会社の貿易独 占権廃止(茶をのぞく)	19 イギリス, シンガポール領有			1820
		24 イギリス・ビルマ戦争(～86) 26 海峡植民地成立		25 異国船打払令	1830
	33 イギリス東インド会社の中国貿 易独占権全面廃止		39 林則徐, 広州でアヘンをとりしめる 40 アヘン戦争(～42)	33 天保の大飢饉	1840
	45 シク戦争(～49)		42 南京条約	41 天保の改革(～43)	1850
	57 インド大反乱(シパーヒーの反乱) (～59) 58 ムガル帝国滅亡		51 太平天国(～64) 56 アロー戦争(～60) 58 アイグン条約, 天津条約 60 北京条約, 洋務運動	53 ベリー来航 54 日米和親条約 58 日米修好通商条約	1860
		62 サイゴン条約 63 フランス, カンボジアを保護国 とする 52	62 同治中興(～74) 63 朝鮮, 大院君が摂政となる(～73)	67 大政奉還, 王政復古 68 明治維新	1870
	77 インド帝国成立		73 朝鮮, 閔氏政権成立 71 日清修好条規 74 台湾出兵 76 日朝修好条規, 朝鮮が開国 79 沖縄県設置		1880
	85 インド国民会議成立	83 フェエ条約 84 フェエ条約(第2次) 84 清仏戦争(～85) 87 フランス領インドシナ連邦成立	82 朝鮮, 壬午軍乱 84 朝鮮, 甲申政変 84 清仏戦争(～85)	89 大日本帝国憲法発布 90 第1回帝国議会	1890
		95 マレー連合州成立 99 フィリピン, マロロス共和国樹立 フィリピン, アメリカ領となる	94 甲午農民戦争 95 変法自強運動(～98) 98 戊戌の政変 00 義和団戦争(～01)	94 日清戦争(～95) 95 下関条約, 三国干渉 53	1900

番号	原文
54 ・ 55 ・ 56	<div> <div>56</div> <div> <div>41 太平洋戦争(～45)</div> <div>41 大西洋憲章</div> <div>44 連合軍, ノルマンディー上陸作戦</div> <div>45 ヤルタ会談, ポツダム宣言, 第二次世界大戦終了, 国際連合成立</div> <div>47 トルーマン・ドクトリン, マーシャル・プラン</div> <div>48 OAS 成立</div> <div>49 NATO 結成</div> <div>1950</div> </div> <div> <div>41 独ソ戦開始</div> <div>45 ソ連, 対日参戦</div> <div>47 コミンフォルム結成(～56)</div> <div>49 コメコン成立(～91)</div> <div>41 日ソ中立条約</div> <div>45 アラブ連盟結成</div> <div>48 イスラエル成立 第1次中東戦争(～49)</div> </div> </div> <div> <div>54</div> <div> <div>51 ANZUS 発足</div> <div>54 ジュネーヴ会議</div> <div>55 ジュネーヴ4巨頭会議</div> <div>58 EEC 発足</div> <div>59 キューバ革命</div> <div>60 EFTA 発足</div> <div>1960</div> </div> <div> <div>55 ワルシャワ条約機構(～91)</div> <div>56 スターリン批判 ポーランド, ハンガリーで反ソ 暴動</div> <div>51 イラン, 石油国有化</div> <div>52 エジプト革命</div> <div>56 第2次中東戦争(～57)</div> <div>57 ガーナ独立</div> <div>60 「アフリカの年」(17か国独立), コンゴ動乱</div> </div> </div> <div> <div>62 キューバ危機</div> <div>63 米・英・ソ3国, 部分的核実験禁止条約</div> <div>64 公民権法成立</div> <div>66 フランス, NATO軍から離脱</div> <div>67 EC 発足</div> <div>61 ベルリンの壁建設</div> <div>62 中ソ対立表面化</div> <div>68 「プラハの春」</div> <div>61 非同盟諸国首脳会議</div> <div>62 アルジェリア独立</div> <div>63 OAU 結成</div> <div>67 第3次中東戦争</div> <div>1970</div> </div> <div> <div>69 人類初の月面着陸成功</div> <div>ベトナム反戦運動高まる</div> <div>70 チリ, アジェンデ社会主義政権 発足(～73)</div> <div>71 アメリカ, ドル防衛策発表</div> <div>73 東西ドイツ, 国連加盟</div> <div>75 第1回先進国首脳会議(サミット)</div> <div>79 米中国交樹立</div> <div>79 ソ連, アフガニスタン侵攻</div> <div>80 ポーランド, 「連帯」成立</div> <div>73 第4次中東戦争</div> <div>79 エジプト・イスラエル平和条約調印</div> <div>イラン・イスラーム革命</div> <div>80 イラン・イラク戦争(～88)</div> <div>1980</div> </div>

番号	原文			
57 ・ 58 ・ 59 ・ 60 ・ 61		<p>57</p> <p>41 太平洋戦争(～45) 45 太平洋戦争終了</p> <p>45 インドネシア、独立宣言 46 インドシナ戦争(～54) フィリピン独立 48 ビルマ独立</p> <p>47 インド連邦、パキスタン独立、第1次インド・パキスタン(印パ)戦争</p>	<p>58</p> <p>48 大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国成立 49 中華人民共和国成立 50 朝鮮戦争(～53)</p> <p>45 広島、長崎が原爆投下される連合国に降伏 46 日本国憲法公布</p>	<p>1950</p>
	<p>60</p> <p>54 インド・中国間で平和五原則確認</p>	<p>54 SEATO発足 ジュネーヴ休戦協定 55 アジア・アフリカ会議(バンドン会議) 60 ベトナム戦争(～75)</p>	<p>53 中国、第1次5か年計画 58 第2次5か年計画(「大躍進」政策) 人民公社の開始(～85) 60 中ソ論争</p>	<p>51 サンフランシスコ平和条約 56 日ソ共同宣言 国際連合加盟</p> <p>1960</p>
	<p>61</p> <p>61 非同盟諸国首脳会議 62 中国・インド国境紛争 65 第2次印パ戦争</p>	<p>65 アメリカ、ベトナムへの軍事介入本格化 インドネシア、九・三〇事件 67 ASEAN発足</p>	<p>64 中国、原爆初実験 65 日韓基本条約調印 66 中国、文化大革命始まる(～76)</p>	<p>64 東京オリンピック</p> <p>1970</p>
	<p>71 バングラデシュ、独立宣言 第3次印パ戦争</p>	<p>73 ベトナム和平協定調印 75 ベトナム戦争終わる 76 ベトナム社会主義共和国成立 78 ベトナム軍、カンボジア侵攻 79 中国、ベトナムに侵攻</p>	<p>71 中国、国連の代表権獲得 72 日中共同声明、日中国交正常化 73 第1次石油危機 78 日中平和友好条約調印 78 中国、「四つの現代化」始まる(中越戦争)</p>	<p>72 沖縄復帰 73 第1次石油危機</p> <p>1980</p>
	<p>90 インド、経済改革進む頃</p>	<p>86 ベトナム、ドイモイ始まる 89 ベトナム軍、カンボジアから撤兵</p>	<p>88 ソウル・オリンピック 89 天安門事件</p>	<p>89 消費税実施</p> <p>1990</p>
	<p>98 インド、パキスタン両国が核実験</p>	<p>97 アジア通貨危機</p>	<p>91 韓国、北朝鮮が国連に同時加盟 97 香港、中国に返還 99 マカオ、中国に返還 00 朝鮮半島南北首脳会談</p>	<p>91 海上自衛隊、ペルシア湾派遣 95 阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件</p> <p>2000</p>
	<p>04 スマトラ沖大地震(インド洋大津波)</p>	<p>02 東ティモール独立</p>	<p>06 北朝鮮、核実験実施</p>	<p>03 自衛隊、イラク派遣(～09)</p> <p>59</p>

番号

訂正文

57
・
58
・
59
・
60
・
61

		57			
	47 インド連邦, パキスタン独立, 第1次インド・パキスタン(印パ)戦争	45 インドネシア, 独立宣言 46 インドシナ戦争(～54) フィリピン独立 48 ビルマ独立	41 アジア太平洋戦争(～45) 45 アジア太平洋戦争終了	41 日ソ中立条約 45 広島, 長崎が原爆投下される 連合国に降伏 46 日本国憲法公布	1950
	54 インド・中国間で平和五原則確認	54 SEATO発足 ジュネーヴ休戦協定 55 アジア・アフリカ会議 (バンドン会議) 60 ベトナム戦争(～75)	53 中国, 第1次5か年計画 58 第2次5か年計画(「大躍進」政策) 人民公社の開始(～85) 60 中ソ論争	51 サンフランシスコ平和条約 56 日ソ共同宣言 国際連合加盟	1960
	61 非同盟諸国首脳会議 62 中国・インド国境紛争 65 第2次印パ戦争	65 アメリカ, ベトナムへの軍事介入 本格化 インドネシア, 九・三〇事件 67 ASEAN発足	64 中国, 原爆初実験 65 日韓基本条約調印 66 中国, 文化大革命始まる(～76)	64 東京オリンピック	1970
	71 バングラデシュ, 独立宣言 第3次印パ戦争	73 ベトナム和平協定調印 75 ベトナム戦争終わる 76 ベトナム社会主義共和国成立 78 ベトナム軍, カンボジア侵攻 79 中国, ベトナムに侵攻(中越戦争)	71 中国, 国連の代表権獲得 72 日中共同声明, 日中国交正常化 73 第1次石油危機 78 中国, 「四つの現代化」始まる 78 日中平和友好条約調印	72 沖縄復帰 73 日中国交正常化 73 第1次石油危機	1980
	90 インド, 経済改革進む頃	86 ベトナム, ドイモイ始まる 89 ベトナム軍, カンボジアから撤兵	88 ソウル・オリンピック 89 天安門事件	89 消費税実施	1990
	98 インド, パキスタン両国が核実験	97 アジア通貨危機	91 韓国, 北朝鮮が国連に同時加盟 97 香港, 中国に返還 99 マカオ, 中国に返還 00 朝鮮半島南北首脳会談	91 海上自衛隊, ペルシア湾派遣 95 阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件	2000
	04 スマトラ沖大地震(インド洋大津波)	02 東ティモール独立	06 北朝鮮, 核実験実施	04 自衛隊, イラク派遣(～09)	59

番号	原文	訂正文
64	<div>韓国併合73</div> <div>関税と貿易に関する一般協定 (GATT)125</div> <div>関税自主権の完全回復(日本)68</div> <div>間接統治(日本)128</div>	<div>韓国併合73</div> <div>関税自主権の完全回復(日本)68</div> <div>関税と貿易に関する一般協定 (GATT)125</div> <div>間接統治(日本)128</div>
65	<div>コークス溶鉄法42</div> <div>国勢調査111</div> <div>国鉄175</div> <div>国内総生産(GDP)162</div> <div>国民会議派133</div> <div>サティール72</div> <div>佐藤栄作153,161</div> <div>サハリン(樺太)46,59</div> <div>サミット175,188</div> <div>サライェヴォ事件94</div>	<div>コークス溶鉄法42</div> <div>国勢調査111</div> <div>国内総生産(GDP)162</div> <div>国民会議派133</div> <div>佐藤栄作153,161</div> <div>サハリン(樺太)46,59</div> <div>サミット175,188</div> <div>サライェヴォ事件94</div>
66	<div>二・二六事件113,119</div> <div>日本国憲法128</div> <div>日本労働総同盟99</div> <div>ニュー・ディール112</div> <div>寧波[ニンポー]28</div> <div>パレスティナ解放機構(PLO)180</div> <div>パレスティナ暫定自治協定 (オスロ合意)180</div> <div>パレスティナ戦争(第1次中</div>	<div>二・二六事件113,119</div> <div>日本国憲法128</div> <div>日本国有鉄道175</div> <div>日本労働総同盟99</div> <div>ニューディール112</div> <div>寧波[ニンポー]28</div> <div>ハル・ノート123</div> <div>パレスティナ解放機構(PLO)180</div> <div>パレスティナ暫定自治協定 (オスロ合意)180</div> <div>パレスティナ戦争(第1次中</div>
68 ・ 69	